

2018年市議会11月通常会議 請願

[請願第4号](#) 市民センターの統廃合計画を白紙に戻し、市民と共に安心して住み続けられる大津市のまちづくりを築いていくことを求める請願

市民センターの統廃合計画を白紙に戻し、市民と共に安心して住み続けられる大津市の まちづくりを築いていくことを求める請願

【紹介議員：共産党、志士、清正】

大津市の市民センターは、「市民と行政をつなぐ拠点」として、また「地域住民相互の対話・学習・交流・防災の拠点」として、どこに住んでいても等しく住民サービスが受けられるよう、これまで市と市民が協働して築いてきたものです。

昨年 11 月に市が公表した「市民センター機能等の在り方」素案は、36 カ所の支所を 10 カ所に減らし、26 カ所は職員も引き上げて支所機能をなくし、公民館をコミュニティセンターにし、防災も地域で対応してもらおうとしています。この方針に対し、6つの自治連合会や公民館利用者団体などが2万数千筆の反対署名を市に提出（2018年9月末現在）し、9月開催の大津市自治連合会定例会においても「36学区の支所機能を残す」ことを市に求めることを再確認しています。

これまで市内3か所での意見交換会と、36学区ごとの意見交換会が開かれましたが「支所、公民館を残すべき」が圧倒的な声で、また、市の説明資料そのものに疑義があるとの声が多く出されました。意見交換会の開催は市の広報にも掲載されておらず、まだ多くの市民がこの計画を知りません。

今回の市の素案は市民と共に作られたものではなく、コンサルタント会社に委託して作られたものであり、納得できません。

私たちは「住民自治の確立と持続可能なまちづくり」のために次のことを請願します。

請願項目

1. 市民の理解が得られていない市民センターの統廃合計画を白紙に戻すこと。
2. 市民センターのあり方については、改めて市民と共に議論を深めること。

請願者：支所・公民館を守る大津市民の会